

つき BON の「誤解をおそれず言わせてもらえば」

めざす会幹事 大津寄章三

乳児の IQ

下の孫が生後五ヶ月を迎えた。

ついこの間まで仰向けになっているだけであったが、今では布団に寝かせているとあつという間に腹ばいになっている。くるん、ときれいに回りちゃんと下になった腕もぬいて寝返りをするのである。

だいぶ人間らしくなってきた。振り回したり脇の下を一定のリズムで突っついてやるとけたけたと笑う。脚が強く、軽く支えてやるとすっくと立ち続けている。向かい合わせにするとこちらの顔を目をそらさずにじっと見つめている。考えてみればこれほどじっと見つめ合ったことというのは、赤ん坊以外の相手では数十年前の若き日以外には思い浮かばない。

この時期の乳児というのは大人の何十倍もの速さで脳が成長している。全米で絶賛された話題のベストセラーに『いまの科学で「絶対にいい!」と断言できる最高の子育てベスト55』という本がある。それによると三歳までにたっぷり言葉を聞いた子どもは、親の語りかけが少なかった子どもに比べて、語彙力と IQ が高く成績が良くなるという。

胎児は生まれる3ヶ月も前から母親の体内で反響する音を聴いて言葉を吸収しはじめるため、おなかの子に語りかけることも非常に有用であるらしい。また、赤ちゃん言葉でなく豊かな語彙で語りかけること、前向きな言葉で語りかけること、表情豊かに語りかけること、さらに「じかに、常に」語りかけることによって脳は活性化するという。同書に興味深い下りがある。

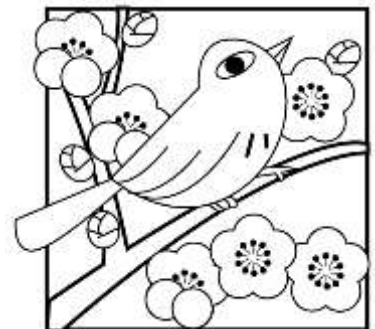
貧困層が通うプリスクールの教師のベティ・ハートは、4歳児の語彙力を向上させるべくあらゆる手をつくしましたが、望みはかないませんでした。彼女がカンザス大学の修士課程の指導教官トッド・リズリーと共に出した結論は「4歳では手遅れ」というものでした。

2人は理由を知るために、42世帯の追跡調査を開始。2年6ヵ月にわたり、1ヵ月に1時間の頻度で、家庭内のすべての会話を録音してもらいました。

録音テープは合計1300時間。書き起こすのに6年かかりました。

ハートとリズリーは、裕福な親と貧困層の親の子どもとの会話の違いを分析する過程で、さまざまな角度から「会話の質」を研究しました。名詞と動詞を混在させているか？ 語彙のレベルは？ 前向きな会話か、ネガティブな会話か？

その結果、最も興味深い変数となったのが「単語数」でした。



○生活保護を受けている世帯の子どもが聞く単語数は、1時間に「平均 600 語」。親が専門職に就いている世帯の子どもは、1時間に「2100 語」。

○親が専門職の家庭の子どもは4歳までに「4800 万語」の語りかけを受けている。貧困層の家庭の子どもは「1300 万語」。これでは、貧困層の子どもは語彙力と会話の獲得に遅れが出て当然で、この差はのちの学習力に影響する。

○子どもが3歳の時点の言語能力から、9～10歳の言語能力は推測できる。

語彙力とIQが高く、成績優秀な子どもに育てるには、どのくらい「たくさん」聞かせるべきなのでしょう？

研究によると、そのために必要な単語数は1日2万1000語。1時間あたり2100語です。かなり手ごわく感じませんか？ 私も最初はそう思いました。

でも、1時間2100語は、休みなくしゃべり続けなければならない分量ではありません。1時間に15分間おしゃべりしている程度の分量です。

「言葉のシャワー」が脳に決定的な影響を与えるというのである。むしろそれは一方通行ではなく、双方向性をもつものであるほうがいいことは論を待たない。つまりこの時期にビデオやテレビで子育てをしたり、多くの子の面倒をみなくてはならない少数の保育士に育児をゆだねるような環境は決して子供のIQを高めない、ということである。

貧困層・専門職に分類しての二群法には多少遺伝の要素も考慮しなくてはなるまい。しかし、「4歳では手遅れ」という指摘は実に重要である。脳には臨界期があり、その時期を逃してしまえばもう身につかない資質というものは確かにある。「三つ子の魂百まで」ということわざや六歳が物事の習い始めとされた習俗はそこらへんに由来する。そういう厳然たる科学的根拠をもとにすれば、育児というのは胎教から始め、三歳くらいまでは親がマンツーマンで付き添ってやるのがベストなのであろう（社会の事情や家庭の経済がそれを許すかどうかはまた別の話である）。

私は専業主婦の母に育てられたし、私の子や孫も同様である。幼い子には常に語りかける母親がそばに付いていた。それがIQの向上につながったか（あるいはつながるのか）どうかについては確証がないが、少なくとも情緒や常識が身についた普通の子に育ったとは言える。わが子を「イチロー」や「愛ちゃん」にしようという野心がないのであれば、たとえ少々貧しくとも子供は母親が育てるにしくはない。その過程を通して親も親として成熟していくのである。

年端もいかない子を長時間預けて稼ぎに出、子供が成長してからその金で家庭教師や塾や進学に血道をあげる親が多い中で、何か違うぞ、と思っているのは私だけであろうか。

いじめの悪質化やいじめられてすぐ死んでしまう子、雪だるま式に増えていく引きこもりの話題を聞くたびに、育児の外注化は親子ともどもの不幸につながっているように思えてならない。（2017/02/09）



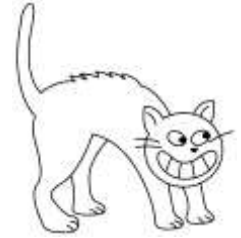
■国際派日本人養成講座■ Japan On the Globe ■

Common Sense: 「子は国の宝」の経済学

最新の教育経済学が、わが国の伝統的な子育ての智慧を科学的に裏付けつつある。

■ 1. 「しつけを受けた人は年収が高い」

「幼児の頃にきちんとしつけられると、大人になってから社会的にも成功し、年収が高くなる」という興味深い調査結果がある。



神戸大学の西村教授らは、「しつけ」という違った角度から研究を行いました。4つの基本的なモラル（＝ウソをついてはいけない、他人に親切にする、ルールを守る、勉強をする）をしつけの一環として親から教わった人は、それらをまったく教わらなかった人と比較すると、年収が86万円高いということを明らかにしています。

話題のベストセラー、中室牧子著『「学力」の経済学』の一節である。これは「教育経済学」という分野の研究結果で、教育を一種の投資活動と捉え、子どもをどのように教育したら投資成果があがるか、を実際の社会調査データなどを用いて研究する分野だそう。

上述の研究結果は、我々の先人が行っていた「しつけ」が、子供たちの成人後の収入に大きく影響する、というのである。年収86万円の違いというと、単純に22歳から62歳まで40年間では、3,440万円にもなる。

なぜ、しつけを受けた人は年収が高いのか、その理由については、山形大学の窪田准教授の研究が参考になる、という。

窪田教授らは、しつけが子どもの勤勉性に因果効果を持つことを明らかにしました。すなわち、親が幼少期のしつけをきちんと行い、基本的なモラルを身につけさせるということは、勤勉性という非認知能力（JOG注：知能指数などで計測される認知能力と異なり、忍耐力、社会性、やる気など直接計測できない能力）を培うための重要なプロセスなのです。

そして、このしつけによって育まれた勤勉性が、平均的な年収の差につながったのだと考えられます。

「4つの基本的なモラル（＝ウソをついてはいけない、他人に親切にする、ルールを守る、勉強をする）」を躰けられれば、子どもは真面目に忍耐強く、勉強やクラブ活動に取り組み、ごまかしをせず、友だちとも助け合うだろう。



そんな子どもが学力だけでなく、立派な人格を持ち、社会に出てからも活躍する、というのは、わが国の伝統的な子育ての智慧とよく合致する。

■ 2. 幼児教育がもたらす人生での成功

「非認知能力」とはこなれない訳語だが、分かりやすく「人格力」と言い換え

ても良いだろう。その他の研究でも、幼児からの人格教育が、その後の人生での成功にも非常に効果的だ、という結果が出ている。

ノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ヘックマン・シカゴ大学教授は、1960年代から開始されたミシガン州のペリー幼稚園での実験結果を定量的に分析した。この幼稚園では、低所得の黒人家庭の3～4歳の子供たちに、次のような「質の高い就学前教育」を施した。

- ・幼稚園の先生は、修士号以上の学位を持つ児童心理学等の専門家に限定
- ・子ども6人を先生1人が担当する
- ・午前中に約2.5時間の読み書きや歌などのレッスンを、週に5日、2年間受講
- ・1週間につき1.5時間の家庭訪問



無作為に選ばれた58人の子どもは入園を許されて上記の教育を受け、65人の入園を許可されなかった子どもたちと比較する研究が、その後、約40年も続けられた。その違いは目覚ましかった。この教育を受けた子どもたちは、受けなかった子どもたちに比べ、

- ・6歳時点のIQ(知能指数)が高い
- ・19歳時点の高校卒業率が高い
- ・27歳時点の持ち家比率が高い
- ・40歳時点での所得が高い、逮捕率は低い

という事が明らかになった。

こうした影響は、本人の収入を上げるだけでなく、その働きによって社会全体を豊かにする効果を持つ。ペリー幼稚園での教育投資が社会全体に与える「社会収益率」を、ヘックマン教授は7～10%と推定している。これは4歳の時に投資した1万円が、65歳の時に60万円から300万円となって社会を益するということである。

現在の日本の10年もの定期預金金利が0.1%程度だから、これでは1万円を60年間、寝かせても、618円の利子しかつかない。余裕資金があったら定期預金に預けるより、幼児の人格教育をした方がはるかに効果が大きい、ということである。

■ 3. 人生を成功に導く人格力

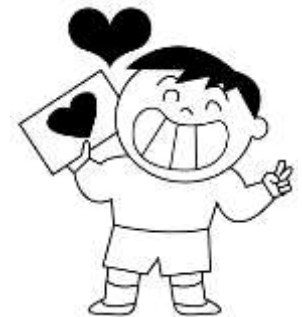
興味深いのは、二つのグループの違いが、知能指数ではないことだ。確かにペリー幼稚園で「質の高い就学前教育」を受けたグループの知能指数は4～5歳ごろは高かったが、8歳頃にはその差が無くなってしまった。それでは何が違ったのだろうか。中室准教授はヘックマン教授の他の研究も引用しながら、次のように語っている。

ヘックマン教授らは、学力テストでは計測することができない非認知能力が、人生の成功において極めて重要であることを強調しています。また、誠実さ、忍耐強さ、社交性、好奇心の強さ—これらの非認知能力は、「人から学び、獲得するものである」ことも。

おそらく、学校とはただ単に勉強をする場所ではなく、先生や同級生から多くのことを学び、「非認知能力」を培う場所でもあるということなのでしょう。

これも我々の社会経験から頷ける。学校の成績は良くとも、誠実さ、忍耐強さ、社交性に欠けて社会では成功しない人もいるし、逆に勉強は苦手でも人格面で優れているために、企業の中で信頼され、重要な仕事を任されて活躍している人もよく見かける。

ペリー幼稚園の子どもたちは勉強もさることながら、優れた教師たちにじっくり教わる過程で、忍耐強さ、誠実さ、社交性などの人格力を身に付けていったのだろう。



■ 4. 「やり抜く力」

人格力の中でも、特に重要と考えられているのが、「やり抜く力」である。ペンシルバニア大学のダックワース教授は、かつてニューヨークの公立中学校で教師をやっていた際に、成績は知能指数とはあまり関係ない、という事実衝撃を受けた。知能指数がそれほど高くなくとも成績の良い子がおり、逆に知能指数が高いのに成績が良くない子もいる。

そこでダックワース教授は考えた。中学1年の数学で習うレベル、たとえば平行四辺形の面積を出す、というような問題は、どんな生徒も十分な時間をかけて、一生懸命勉強すれば、解けるようになる。だとしたら、成績の違いは、一つの問題に取り組み、それが解けるようになるまで「やり抜く力」の違いではないか、と。

教授は、教師を辞めて大学院に行き、心理学者になって「やり抜く力」に関する研究を始めた。「やり抜く力」を測定するアンケートを何千人もの高校生に行って、その力の高い高校生の方が、高校卒業まで辿り着く確率が高い事が分かった。

同様に、ウエストポイント陸軍士官学校で士官候補生が厳しい訓練を受けて卒業できるかどうか、教育困難な地区で働く新米教師が学年末までやり遂げられるかどうか、販売店員がどれだけ売上げを上げられるか、などのケースでも、やはり「やり抜く力」の高い人間が成功していた。

教授は、「やり抜く力」を次のように定義している。

やり抜く力とは、超長期目標に向けた情熱や忍耐力で、スタミナがあることでもあります。やり抜く力は明けても暮れても自らの将来にこだわることです。その週だけとか、その月だけではなく、何年もの間、一生懸命に取り組む、その夢を実現することです。やり抜く力は、短距離走ではなく、マラソンを走るように生きることです。

ダックワース教授のこの説明は、まさに教育勅語での「學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ？器ヲ成就シ（学問を怠らず、職業に専念し、知識を養い、人格をみがき）」の一節を彷彿とさせる。「やり抜く力」とは、まさにわが国の教育伝統でも重視されてきた人格力の一つなのである。

■ 5. 人格力を育てる方法

こうした人格力を育てるには、どうすれば良いのか。ペリー幼稚園の事例では、優れた教師が子どもに密着して指導していた。この点がヒントになりそうだ。

中室准教授自身の研究では、親が口先だけで「勉強しなさい」などと言っても、効果はない。

逆に「勉強を見ている」または「勉強する時間を決めて守らせている」という、親が自分の時間を何らかの形で犠牲にせざるを得ないような手間暇のかかるかわりというのは、かなり効果が高いことも明らかになりました。

子どもの勉強を見るのは、親でなくとも良い。



祖父母や兄姉、あるいは親戚などの「その他の同居者」が、子どもの横について勉強を見たり、勉強する時間を決めて守らせていても、親とあまり変わらない効果が見込めることがわかっているのです。

子どもは誰かが自分に関心をもって、勉強している姿を見てもらいたいのだろう。そうする事で、勉強は自分一人の孤独な作業ではなく、自分の努力を認めて貰える。そういう人とのつながりの中から、忍耐強さ、やり抜く力、誠実さなどを学んでいく。ペリー幼稚園の子どもたちは、まさしくそういう形で教師たちに育てられたのである。

日本では福井県の小中学生が、塾に通っている率は低いのに、全国学力テストでトップクラスの成績を収めて、教育関係者を驚かせた。これは学校がたくさんの宿題を出して、家庭でお母さんたちが家事をしながら、そばについて見ていること。そして三世帯住宅が多いので、お母さんが働いている場合は、お祖母さんがその代役を努めている事が多いからだった。

■ 6. 良い先生の大切さ

ペリー幼稚園の実験では、子どもたちは「修士号以上の学位を持つ児童心理学等の専門家」に、毎日2.5時間も教わったのだが、こうした「教員の質」が、子どもの教育に大きな影響を与える、という事が、今までの研究で明らかになっている。

スタンフォード大学のハヌシエク教授の研究では、もともと学力の水準が同程度の子どもたちに対して、能力の高い教員が教えた場合、子どもたちは1年で1.5年分の内容を習得できたのに対して、能力の低い教員が教えた場合は0.5年分しか習得できなかった。

ハヌシエク教授はこの結果をもとに、能力の高い教員は、子どもの遺伝や家庭の貧しさすらも帳消しにしてしまうほどの影響力を持つ、と結論づけている。

全国学力調査では、日教組左派活動の活発な北海道、沖縄県、三重県、大阪府などは学力調査で下位に並んだ[c]。「子どもの権利」などと甘やかされ、「ゆるみ教育」しか受けず、また先生も組合活動で「自習」ばかりとなれば、学力低下も当然である。

これは弊誌の勝手な推測ではあるが、今まで紹介した研究事例から見ると、「良い先生」というのは学力だけではなく、人格力もある先生なのではないか。子どもたちに粘り強く向き合い、思いやりをもって接し、勉強だけでなく、子どもの人格を育てるには、先生自身の人格力が大事なのだろう。

子どもたちの教育よりも、自身の政治活動に重きを置くような、人格力に欠けた左翼活動家では、子どもたちの人格力を磨くことは無理な相談だろう。

■ 7. 「子は国の宝」

わが国は江戸時代から寺子屋教育が普及し、庶民の就学率は当時の西欧諸国と比べても高かった。1850年頃の江戸での就学率は70～86%だったが、イギリスの大都市では20～25%に過ぎなかった。

日本全国では1万5千もの寺子屋や塾があって、子どもたちを教育していた。そこではお坊さんや神主さん、ご隠居さんなど人格力のある人々が、少人数の子どもたちにマン・ツー・マン教育をしていたのである。ペリー幼稚園の教育を、わが国は江戸時代にすでに全国レベルで行っていたのだ[d]。そうした教育に、幕末に来日した外国人たちも、一様に目を見張っている。

こうした江戸時代の子育てをベースに、明治日本が国家政策として取り組んだのが「学制」だった。財政も不安定な中で、全国津々浦々に現在とほぼ同数の2万4千校の小学校を作り、志ある多くの青年たちを師範学校で教師として養成した[f]。そして教育勅語で、教育の理想を説いた。

ここから生まれた学力と人格力を備えた無数の人材が、明治日本の急速な発展を実現したのである。まさに「子は国の宝」である。

最新の教育経済学の研究成果は、我々の先人が長い年月をかけて磨いてきた子育ての智慧が正しいことを科学的に立証しつつある。



(文責：伊勢雅臣)

■ ===== 2017年1月17日発行 ■

一般財団法人親学推進協会 メールマガジン 第84号

■ ===== ■

皆さまには、希望に輝く新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
新しい年 酉年が、皆さまにとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。

さて、今年も早々に大阪府で取り組んでいる課題があります。
1,274件。
大阪府における平成27年度【10代】の人工妊娠中絶件数です。

- 13歳、2件。
- 14歳、10件。
- 15歳、39件。
- 16歳、142件。
- 17歳、218件。



18 歳、353 件。

19 歳、510 件。

一方、厚生労働省子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第 12 次報告）によると、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの間に発生し、又は表面化した子ども虐待による死亡人数は 71 人でした。

厚生労働省は第 1 次報告から第 12 次報告までを総括して、『子ども虐待による死亡事例等を防ぐためのリスクとして留意すべきポイント』を示しています。

養育者の『望まない妊娠／計画していない妊娠』。

なぜなら、虐待死で最も多い年齢は 0 歳児だからです。

この課題に対して政策誘導で効果を上げているのが秋田県です。

秋田県では秋田県教育庁・秋田県教育委員会が地元の医師会と連携し、医師による性教育講座を県内の高校・中学校で行っています。

県内すべての中高生が在学中に一度は妊娠・出産や避妊、性感染症などについて話を聞く機会を設けています（2017 年 1 月現在 68 校で実施）。

秋田県の 10 代の人工妊娠中絶率が全国平均を大きく上回った 2000 年度からスタートし、2011 年には、その 1/3 にまで中絶率が減少。全国平均を下回るようになりました。

今、行われている児童虐待防止対策の多くは問題が「起こってから」の活動ばかりですが、問題が「起こらない」ために、秋田県のような取組が急務です。

私の住む大阪府茨木市では厚生労働省の文言を借りると、『望まない妊娠／計画していない妊娠』を防ぐために、小・中・高校生に赤ちゃんに触れ合い、お母さんから妊娠・出産の話聞く取組を授業の中で行っています。

体験した子供からは、

『しっかり考えて授かる事が大事だと思った。』

『今まではちょっと軽く考えていた。』

『子供の事を優先しないといけないことがわかった。』



そんな感想が沢山寄せられます。

中には、

『お母さんが夜も起きて子供のお世話をしているのにびっくりした。』

『何をやってもずっと泣いているので、お母さんは大変だと思った。』

初めて赤ちゃんに触れるため、素直な驚きを書いてくれる中学生もいます。

現場にいると、児童虐待の件数が増え続けるのは当たり前だと感じます。今後も増えるのは間違

いないです。

なぜなら、妊娠、出産にまつわる大切な話を誰からも教わらないまま親になり、仕事、仕事と追われているうちに教わる機会すらないまま、子育てが始まるからです。

命を守ることに上に大切なことはありません。

経済も政治も教育も、まずは「命を守る」という一番大切なことに軸足を置いていただきたいです。

冒頭の数字。1,274 件。

大阪府だけでも 10 代の女性がこれだけの数、苦しんでいます。
これこそが児童虐待の根っこにある問題だと思っています。

秋田県で結果ははっきりとしています。



良質な情報を、悪質な情報を得る前にしっかりと伝えておけば防ぐことが出来ます。

皆さんのお子さん、お孫さん、身近な方が「知らなかった」たったそれだけの事で、悲しい結果に巻き込まれることがありませんように（もちろん、予期せぬ妊娠から、今現在幸せに子育てをされている方も沢山いらっしゃいます）。

命が健やかに誕生しますように…その願いをこめて今年も尽力して参ります。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(親学推進協会 理事 辻 ゆきこ)

第 2 回愛媛親学基礎講座のご案内

10月16日に続き、第2回を下記の要領にて開講致します。ちらしを同封させていただきます。

幼稚園の先生方に受講のご案内にまわっていて感じますのは、現場における発達障害に対する関心の強さです。ある幼稚園では、入園許可は数回の面接でちゃんと先生の目を見ることが出来るかチェックして、発達障害でないことを確認してから、とおっしゃっていました。1回の面接では分からないからと。また、障害のある幼児の通う施設は希望者が収容人数を上回っているとのことでした。

高橋史朗先生は、親学アドバイザー認定講座やアドバイザー研修では、発達障害の問題を詳しく取り上げられ、埼玉県での取り組みを紹介されます。埼玉県では早期発見により著しい成果を上げられており、予算も2億円から6年後の昨年では7億8千万にも増えています。

幼稚園は行事が多く、なかなか講座においでいただけません。(10月の講座は幼稚園関係者は0。第2回は申込みがお一人。)そこで、愛媛県私立幼稚園協会の高橋先

生をお招きしての研修を開催していただくようお願いしたところでございます。

日時：平成29年3月4日（土）
会場：砥部町文化会館 3階 視聴覚室
受講料：12,000円（お支払いは当日会場にて）
学生、家族の2人目から10,000円
テキスト：「親学の教科書」（1,728円）
メ切り：2月25日（土）
共催：一般財団法人 親学推進協会

高橋史朗先生の公開講座

上記3月4日（土）の愛媛親学基礎講座の第一講座を公開と致します。

時間：9時30分～11時
受講料：3000円

めざす会事務局（090-8971-7721）までお申し込み下さい。

親学アドバイザー研修

親学基礎講座を修了しますと、「親学アドバイザー認定講座」を受講（2日間）できます。受講後審査を経て、親学アドバイザーになることができます。次回認定講座は5～6月ごろに開講予定でございます。

アドバイザーになりますと、定期不定期に研修が開催されます。
尚、この研修は、オブザーバーとしてどなたでも参加していただけます。

受講料：5000円

タイムテーブル	テーマ	講師	会場
9：30～11：00	親学とは何か	高橋史朗先生	3階視聴覚室
11：10～12：30	親御さんの自己肯定感を高める	杉本哲也先生	2階研修室1

ひの会

—愛媛県師友会ひの会 2月の勉強会のお知らせ—

【日時】 24日（金） 19：00～21：00

【場所】 松山市男女共同参画推進センター☆コムズ 三階 会議室1-2
(住所：愛媛県松山市三番町6丁目4-20)

【内容】 『論語』⑥
資料は当局で用意させていただきます。
『論語』（岩波文庫）をお持ちの方はご持参ください。

※コムズ一階のホワイトボードには「尚友会」と掲載されていますが、
「ひの会」の勉強会を行っています。
参加ご希望の方は事前に下記の連絡先にご連絡ください。

よろしくお願ひ申し上げます。

愛媛県師友会ひの会 三浦夏南
【連絡先】 080-2981-1412
【メールアドレス】 milankonan501@yahoo.co.jp

やまと塾一近々開校

やまと塾 代表 三浦夏南

この度、愛媛県の少年少女より眠れる日本精神を引き出す学習塾、やまと塾を松山市緑町の和光会館内に開校することが決まりました。

世間を見渡すと、公教育から私教育まで己の私利私欲を充足し、野心野望を遂げるための手段として学問が扱われているという悲しい現実があります。

あなたはなぜ勉強するのですか。あなたはどのように勉強させるのですか。という質問に親、教師、生徒、共に明確に答えることができない。答える事が出来てもそれは己の職の為、生計の為、餌を求める禽獣と異なりません。

本来の学問はそうではありません。人の人たる道を求め、皇国の皇国たる所以を学び、真の己、神なる自己を開発し、天下国家の為にその身を捧げることの出来る人間を目指す神聖なる道学なのです。

やまと塾では道を求め、義理を磨くことを先とし、技術習得は後とします。語学、算術などは道を学ぶことによって人格が作られてこそ生きて来ます。志のない技術、才能は危ういだけです。

また、忠孝の本心を軸として、自分は己の地から何を起こして行くかという志を立てます。今自分が生かしていただいているこの皇国の為に自分は何ができるのか、何によって皇恩に報いるのか。教育者、政治家、軍人、経営者、どの分野に自分を捧げていくのか。具体的に志を定め、日々の学問修養に務めます。

生徒だけでなく親も学べる場を提供し、個別懇談を設けて塾と家庭の意志の疎通を図り、家庭と塾が協力して、生徒を磨きあげます。

生徒一人一人が、皇室、祖先、父母の厚恩を知り、私に背きて公に向かい、己の個性を生かして国家有為の人物を目指す。それがやまと塾です。

あらゆることが行き詰る現在の祖国日本において、祖国再建の鍵は疑いなく新たなる人物の育成にあります。幕末、志士達の精神を養ったものは学問でありました。今こそ真の学問を再興し、次世代を担う少年少女、青年が集い、切磋琢磨し、幕末を越える志士を目指して行かなければなりません。

このやまと塾は日本を思う志士の集う道場となると堅く信じております。否、必ずそうすることをお誓い申し上げます。

皆様、何卒宜しく願い申し上げます。

教育理念

一．皇室を敬い、国を愛する人になります。

一．祖先を敬い、父母に順い、家を大切にす人になります。

一．志を立て、公に尽す人になります。

本を務めれば、末は自ずから生じます。英語も数学も志があって初めて本当に身に付き、公のために生きてきます。やまと塾では、道を求め、人を創ることを第一とします。

【幼児コース】

素読行・歌・和歌・カルタなどを通して日本人の精神を涵養します。

【小学修身英語コース】

【歴史＋啓発書】前半で偉人伝(吉田松陰先生・楠正成公など)を通して歴史を学び、後半で『教育勅語』・『啓発録』等の自己啓発書の素読・暗誦を行います。

【英語】『星の王子さま』の英語文音読・読解を中心に授業を行います。上質な英語の使いざまを全体から感じ取り、英語を肌で感じます。アルファベットの読み書きや文法等の基礎も固めます。

【小学修身算数コース】

【歴史＋啓発書】前半で偉人伝(吉田松陰先生・楠正成公など)を通して歴史を学び、後半で『教育勅語』・『啓発録』等の自己啓発書の素読・暗誦を行います。

【算数】生徒一人ひとりに学校の宿題やワーク・プリント等を持参していただきます。分からないところがあれば随時質問を受け付け、解説いたします。

【中学修身英語コース】

【歴史＋啓発書】前半で平泉澄先生の名著『少年日本史』を通して歴史を学び、後半で『教育勅

語』・『啓発録』等の自己啓発書を学びます。

【英語】『教育勅語』・『啓発録』・『代表的日本人として』等の英語版の読解・暗誦を行い、上質な英語の定着を図ります。内容の素晴らしい文章を教材とすることで、英語力が向上するだけでなく、人格の形成にも直結します。補助教材として、偉人の名言の読解や洋楽のリスニングも行います。

【中学修身数学コース】

【歴史＋啓発書】前半で平泉澄先生の名著『少年日本史』を通して日本の歴史を学び、後半で『教育勅語』・『啓発録』等の自己啓発書を学びます。

【数学】生徒一人ひとりに学校の宿題やワーク・プリント等を持参していただきます。分からないところがあれば随時質問を受け付け、解説いたします。

【高校修身英語コース】

【歴史＋啓発書】前半で平泉澄先生の名著『少年日本史』を通して日本の歴史を学び、後半で『教育勅語』・『啓発録』等の自己啓発書を学びます。

【英語】『教育勅語』・『啓発録』『グレート・ギャツビー』等の英語版の読解・暗誦を行い、上質な英語の定着を図ります。内容の素晴らしい文章を教材とすることで、英語力が向上するだけでなく、人格の形成にも直結します。補助教材として、偉人の名言の読解や洋楽のリスニングも行います。

【徹底修身コース】

【歴史】平泉澄先生の名著『少年日本史』を通して日本の歴史を徹底的に学びます。最後に意見・感想発表を行います。

【啓発書】最初に素読行を実修します。次に『啓発録』・『教育勅語』等の啓発書を講義します。最後に意見・感想発表を行います。

【幼児コース】

素読行・歌・和歌・カルタなどを通して日本人の精神を涵養します。

保護者面談

保護者の方々としっかりとした意識共有を行うために、月 1 回以上の面談を行います。家庭と塾が連携して、生徒の成長を支援します。

月謝 ※入会金・教材費は不要です。※室料は別途 2000 円/月頂きます。

	授業数/週	月額料金	1回の授業料金	時間
小学修身英語コース	2回	24,000円	3,000円	90分
小学修身算数コース	2回	24,000円	3,000円	90分
中学修身英語コース	2回	36,800円	4,600円	120分
中学修身数学コース	2回	36,800円	4,600円	120分
高校修身英語コース	2回	36,800円	4,600円	120分
徹底修身コース	2回	36,800円	4,600円	120分
幼児コース	1回	10,000円	2,500円	90分

お申し込み、お問い合わせは下記までお願い致します。

やまと塾 代表 三浦 夏南
〒790-0824松山市御幸2丁目6-45 グランセル松山205
電話080-2981-1412
E-mail:milankonan501@yahoo.co.jp

西村眞悟先生の時事通信 2月6日号

無念の二十年、拉致と尖閣

平成29年2月6日（月）

本年に入り、拉致被害者救出に関してマスコミからの取材が相次いだ。

本年の二月で、平成九年二月三日に
私が、十三歳の横田めぐみさんが北朝鮮に拉致されたと
衆議院予算委員会で橋本龍太郎総理に質して二十年が経つからだ。

一言で言って、
「無念の二十年」である。
二十年間、北朝鮮が拉致した同胞を、
我が国は救出していないからである。

イスラエルを訪れた際、
モサド（イスラエル諜報特務庁）の長官を務めたナホム・アドモニ氏に会った。
彼は私に次の質問をしてきた。
日本政府は、北朝鮮に拉致された国民を
どのようにして救出しようとしているのですか。

私は、答えに窮した。
その時、アドモニ氏は、
では、参考までに私がしたことを話しましょうと言って、
次のことを話し始めた。

ある日、シリアの将軍たちが、
前線を視察するという情報を掴んだ。
我々は、彼らを待ち伏せて全員を拘束した。
そして、シリア軍の捕虜となっているイスラエル兵士全員と
シリア軍の将軍たちとの交換をシリアに要求し、
イスラエル兵士全員を救出した。



平成十三年五月一日、
北朝鮮の独裁者金正日の長男である金正男が、
偽パスポートで日本に入国しようとして成田空港の入国管理局に身柄を拘束さ
れた。

その情報をつかんだ荒木和博（現 特定失踪者調査会会長）と私は、
それ！
金正男と拉致被害者全員との交換を北朝鮮に要求するべきだ！
早速、小泉純一郎総理に働きかけよう！



と立ち上がった。
しかし、時既に遅く、
総理と外務省（外務大臣 田中真紀子）は、法を無視して、
北京行き全日空機の二階席を貸し切りにして金正男を乗せ、
彼と家族を国外に送り出した。
モサド元長官のナホム・アドモニ氏の問題意識は皆無だった。
総理と外務大臣のこの措置のなかに、拉致被害者救出の問題意識はこれっぽっちもない。

その小泉総理は、翌年九月十七日に、平壤に行く。
しかし、その目的は、拉致被害者救出ではなく、平壤宣言で明らかのように、
北朝鮮に巨額の金を支払ったあげくの日朝国交樹立であった。
その証拠に、
彼らは政府専用機にトラック二杯分の松茸をもらって帰国し
北朝鮮が死亡したと日本側に言った八名の家族に、「死亡宣告」をして、
その北朝鮮の嘘を信じさせようとした。
平壤宣言では、
翌月の十月から、さっそく、日朝国交樹立交渉を開始すると約束されている。
松茸のお土産は、北朝鮮の「日朝国交樹立＝金を貰える」を歓迎する賄賂（挨拶）であり、
「死亡宣告」は、
これによって拉致問題を終了させ国交樹立に進もうとする小泉内閣の魂胆を露骨に顕したものである。
被害者が亡くなっていれば、「救出問題」は消滅するからである。
即ち、拉致問題は、小泉内閣にとって国交樹立の「障害」であって、
死亡宣告は、その「障害除去」であったのだ。
そして、外務省の歴代アジア大洋州局長は、また、歴代総理も、
この北朝鮮が核実験とミサイル発射で総ての約束を破っている平壤宣言を
未だに後生大事に維持してきた。

以上、「無念の二十年」における、
無念なることのほんの一端を述べた。

この二十年の間、前記の荒木和博が、
自分の命と引き替えに拉致被害者を救出できたらと思いつめたことがある。
多くの人が、救出作戦に参加できれば命は惜しくないと思ったはずだ。
今時、
映画「ランボー怒りの脱出」のような救出劇はあり得ないといわれるが、
先の時事通信で紹介した
インドネシアのスマトラ島パレンバンのジャングルに
不屈の闘魂をもって「休養は靖国神社です」と誓って落下傘降下した
空の神兵といわれた男達の部隊なら、
敢然と北朝鮮に降下して
如何なる犠牲を払おうとも任務を果たし拉致被害者を救出してくると思う。

従って、総理大臣、
「救出作戦断行」の決断枝を、断じて放棄してはならない！

例えば、アドリア海に面したアルバニアのように北朝鮮の行政機構が麻痺した時、
総理大臣は、即座に救出作戦断行の決断をして

陸上自衛隊特殊作戦群そして空挺部隊に救出命令を発しなくてはならない。
そこで言うておく。

かつて、特殊作戦群の荒谷 卓初代群長は、
北朝鮮に潜入して拉致被害者を救出できるか、という私の質問に対して、
即座に、平然として、命令があれば行きます、と応じた。
その平然とした態度は、
命令遂行の為には如何なる犠牲も払うという決意を表していた。
この初代群長の毅然とした覚悟は、歴代受け継がれ、
現在も自衛隊の部隊のなかに脈々と流れているはずだ。

最後に、もう一つの、無念の二十年を言う。

本年は、私が平成九年五月に、尖閣諸島魚釣島に上陸してから二十年に当たる。
あれから、二十年が経過したこの二月、
我が国を訪問したアメリカの新しい国防長官ジェームズ・マティス大将に対して
我が国政府が最大の関心を示して確認を求めたことは、
「尖閣諸島に日米安全保障条約が適用される」
ということだった。

あほらし！

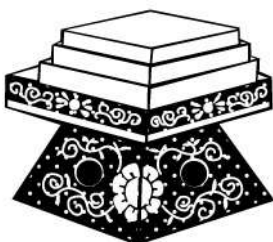
あれから、二十年間、我が国の内閣は、
尖閣に日本人が近づくことを禁じてきた。
合法的に魚釣島に上陸しようとする私たちに対して、
尾行、検問等々、日本政府が行った妨害を思えば、今でも腹が立つ。
その反面、日本政府は、
不法に我が領海や領土に侵入した中国人を放免し続けてきた。
そして、自ら、断固として尖閣と領海を守るという姿勢を示さなかった。
即ち、我が国の歴代内閣は、
一貫して、中国(強盗)を刺激しないという方針を貫いてきたのだ。



何故、今に至っても、まず第一に、尖閣に日米安保が適用されるか否か確認を求めるのか。
何故、アメリカに確認を求める前に、
まず、第一に、自らの領土領海領空は、自らの力で断固守るという決意を示さないのか。
では、その断固たる決意は何によって示されるのか。

それは、

宮古島と石垣島に陸上自衛隊部隊を配備し、
両島の港湾を整備して自衛艦が使用を開始すること、
宮古近海にある下地空港を、F 15 戦闘機とオスプレイの基地とすること、
同時に、
尖閣諸島魚釣島に基地(港湾とヘリポートとミサイル)を建設すること、である。



お問い合わせ：西村眞悟事務所
TEL：072-277-4140 E-mail：sakaioffice@n-shingo.com
<http://www.n-shingo.com/>

良書ご紹介

『10分後にうんこが出ます～排泄予知デバイス開発物語』

新潮社 中西敦士著

起業を目指してアメリカ UC バークレーに留学中、道ばたでお腹ピーピー大惨事を引き起こした若者が思い立ったのは、迫り来る排泄のタイムリミットを、超音波で推定する画期的なデバイスの開発。「うんこを漏らして惨めな思いをする人は僕一人で十分だ！」という熱い思いは、いつしか介護の未来を変えるまでに……。

私（青井）は91歳の母が入院中、病院の排泄の扱い方に疑問を持っていました。朝、病室から「トイレに行きたい！」というどこかのおばさんの大声が響きます。看護婦さんは「パッドしているから大丈夫。おむつにしておいて」「トイレに行きたあい」「いま忙しいから。20分したら行くからそこに（寝たまま）しておいて」

この本の著者は、子供の頃から起業家をめざしてアメリカでビジネスを学んでいるときに、路上でズボンにうんちをしてしまうという衝撃の体験をします。排泄を予知できればこういう悲劇は避けることができると超音波の装置を考え出します。便は形状が様々で予知が困難なそうですが、尿の方は実用化が進められているそうです。開発の過程で自力で排泄することが人間性を保つのに深い関係があることに気が付かれます。

川井は自分自身の経験に照らして、こんなことも言っていた。「おむつの中で排泄してみようと思っても、ふつうはなかなかできません。尿意が来て『おむつだから出しても大丈夫だ』と思ってもブレーキがかかります。ところが一度出してしまうと、だんだん感覚が麻痺してきて、ためらいなくできるようになってきます。そこからさらに進むと尿意すら感じずに漏れるようになる。」

排泄予知装置のトライアルに協力した施設の施設長、田中とも江さんが紹介されています。

「たかが排泄、されど排泄なんですよ」

田中さんはそう切り出した。田中さんが排泄に関心を持つようになったきっかけは、看護師をしていた昭和50年代に病院の精神科領域と認知症の高齢者を対象に行われていた身体拘束だったという。

「私は17歳から病院で働いてきましたが、おむつをしている患者さんは、やっぱりおむつが気持ち悪くて仕方がないんです。だからおむつを触ってしまう。ひどい時にはおむつをちぎって食べてしまう。それは大変不衛生だし、危険なことです。だから病院側は、患者さんがおむつに触らないように身体拘束をしていく。そうすると人間的な大事な部分がどんどん欠損していくんです。そうした不幸な状況に陥るのを防ぐには、排泄の自立を促すことが大事だと気付いたんですね。患者さんが自力で排泄してバナナ便（理想的な便の形）が出て、おしっこが出ると、患者さんは落ち着くことがわかったんです」

田中さんは、おむつをつけることは患者さんを精神的に追い込んでしまうと語る。

「今はおむつが当たり前だと刷り込まれています。病院や介護の現場の人手が足りないからおむつ、寝たきりだからおむつ、漏らしてしまうといじるからおむつとなっている。けれど、おむつは人間の精神面も追い込みます。おむつをして自力での排泄をあきらめると、患者さんは途端にしょぼんとしてご飯を食べなくなる。食べなくなるということは、繊維質を摂る機会が減るということです。そう



するとますます排泄のタイミングが不規則になる。食事をしなくなると、まわりとのコミュニケーションの機会も減っていきます。それで認知症が進行してしまうのですね」

田中さんが排泄に注目したのは排尿が先だったという。

「だけど最終的には便に行き着くんです。便の位置がお腹のどのあたりにあるかがわかれば、看護師や介護士は『あと何日が出るか』がだいたい予測できる。左のS状結腸のところに下りてきているなとわかれば、出るまでの時間は経験でわかります』

田中さんが排泄に注目した1986年頃は、患者さんに下剤を投与して排泄させることが主流だった。

「身体拘束は1986年頃からやめたんですが、身体拘束を真剣になくそうとすると、自然と排泄に目が行きます。身体が自由になれば歩けるようになるから、心臓が悪化していたり肺炎を起こしたりするような人たちも歩く喜びが感じられる。よたよたでも笑顔になるんです。人間の尊厳から考えると、自分で何かできるということは、とても気持ちのいいことなんです。ですから、おむつゼロを目指すことは介護の質を上げます。これは逆もまた言えて、生活の質を上げれば自然とおむつゼロに近づくんです」

「たしかにおむつの品質は良くなっています。でも、『本人に負担がかからない』というのはウソ。どんなにいいおむつでも、中の方に水分が沁みこむまでには最低3分はかかる。実際に排泄した後に、おむつに手を置いて押してみるとわかります。水分が戻ってくるんです。これはやっぱり、つけている人は気持ちが悪い。それよりはトイレに行ってもらって、自力で排泄してもらった方がいいに決まっています。だけど世間はそれほど排泄に関心をもっていないのよね。とくに問題なのは男性です。男性は自分自身が前立腺肥大にならないと、排泄の苦労や重要性がわからない。女性は身体の仕組みからも『漏らす』ということはとても切実な問題なの」

田中さんは拘束廃止研究所の所長で「排泄」に関する著書もある。今の職場に来たのは、2008年のことだ。

「この施設に来る時は、各居室にトイレがあるかどうかを調べて、全居室にあったから来たの。自力での排泄にこだわる施設だと思ったのよ。自力での排尿、排便がうまくいくようにするには、その人の膀胱の許容量、残量、排出量を知らないといけないんです。うちのスタッフは経験でそれぞれの入所者さんの排泄タイミングを把握しているから、極端な話、うちの施設ではDFree（中西さんが開発している排泄予知装置。Diaperが要らないの意）がなくても困らない。だけど、うちみたいに入所者さんがほとんどおむつを使わない施設は珍しいのよ」

田中さんはおむつを使うことのデメリットを知り尽くしている。たとえば、おむつを使うことで感染症のリスクがぐっと上がるというのだ。

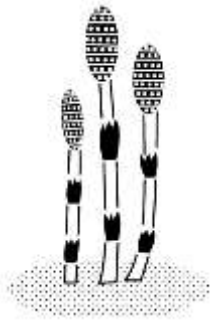
「陰部が汚いというのは、おむつを使ってうんこまみれになるからですよ。洗っても性器には汚れが残っている。拭いても皮膚の間に残ります。だから感染症の元になるの。尿だってそう。どんなにいいおむつでも、ギュッと押すと水が出る。特に高齢者の場合、筋肉が弱って尿道が開いてしまうから、おむつを介して尿道から感染してしまうんです。尿道炎、膀胱炎、ひどい時には腎臓まで冒されます。その結果、多臓器不全でなくなる人もたくさんいるのです。施設や病院で寝たきりにさせられている人に、もう一度、自力で排泄できる快適な状況を作りたい。私が排泄にこだわっている理由はそこにあるの」

まさにこれは僕が考える理想の介護とも一致する。

僕たちは田中さんの全面協力のもと、DFreeの実機を使った実証試験をさせてもらうことになった。そして僕たちは田中さんからDFreeを世の中に広めていくためのアドバイスをもらった。

「こういうものは町とか自治体を巻き込まないとダメよ。施設だけでやろうとするから値段が高くなる。街全体で健康増進のためにやりましょうと言えば、そこに乗っかる人はいる。街全体で保険医療を高めて、コストを下げようということだからね。おむつを外せば認知症の予防にもなる。下剤も飲まなくていい。ゴミもでなくなるんですよ。いいことづくめでしょ。」





今の介護現場って、考える力が明らかに不足しているの。だから利用者におむつをつけて、決まった時間に排泄補助をして、という非効率なままの介護を続ける施設が多い。そういう発想だとスタッフも使い捨てで、考える力も育てられないし、人間の尊厳なんてことも語れない。だから私は DFree が人材を育てない介護業界の構造を変えるきっかけになるんじゃないかと期待しているの。本当に排泄の善し悪しで人間は変わる」

私はこの本をお正月に2回読みました。ご老人のお世話をされている方には、より行き届いたケアのヒントがきっと得られます。

救う会愛媛

12月10日に行われた「拉致被害者救出・街頭啓発パレード」には約100人が参加。翌日の産経新聞によればこの日は愛媛県立上浮穴高校（久万高原町）報道部の3人も救う会の活動取材。「いつまでも解決しないのはいけないと思った」と生徒の1人は話し、集会やパレードの様子を熱心に取材されていたそうです。

椿祭り（2月3・4・5日）での啓蒙活動のご報告

	3日間	(5日)	昨年3日間
募金	456,319 円	(134,434 円)	508,923 円
署名数	3,261 筆	(1,861 筆)	4,382 筆
ブルーバッジ配布数	393 個	(124 個)	481 個

めざす会から7名、ひの会の青年が4名が参加して下さいました。マイクを持たれた森川建司さん、三浦夏南さん、お疲れさまでございました。

ちなみに森川さんは4月の伊予市議選に立候補されます。森川さんとは5年前にめざす会研修会で3.11の現場での活動をお話いただいたのがご縁でございます。みなさまの応援をよろしくお願い致します。

森川建司援会事務所 〒799-3104 伊予市上三谷甲 1884 番地
 電話 089-982-1528
 携帯 090-5916-6562
 メール moriken-ehime@knd.biglobe.ne.jp

◆◆◆ 事務局から ◆◆◆

★エドワーズ博美先生がアパ論文に入賞されました。エドワーズ先生とアパ懸賞論文事務局の許可をいただきコピーを同封させていただきます。



★3月4日(土)の親学基礎講座はまだまだ定員までお席がございます。東京・大阪では開催されていますが、地方都市では当地のみ。折角の機会に勉強されませんか。

★親学推進協会の辻ゆきこ理事は昨年4月の親学アドバイザー認定講座の講師でした。どうみても育ちのよい、アイドルのようなお嬢さん講師でしたが、彼女の人生は外見からは想像できない壮絶なものでした。大学が推薦で決まり入学までのアルバイトで知り合ったやくざに惚れられ結婚。実家から勘当され大学は中退。我が子を虐待する日々。虐待されても母親が好きなお嬢さんに救われ、今では茨木市で親学の推進に邁進されています。☆私も彼女のような活動ができるようになりたいと思っています。

★大津寄先生の巻頭言、国際派講座、親学推進協会のメルマガは底辺にある主張が共通です。受験に熱心な親御さん。我が子が塾でいい点数を取り、いい中学、いい高校・大学に入れることには夢中でも、どんな人間に育てて欲しいかということは考えていないようです。意識が低く収入は高い。受験産業の餌食です。三浦さんのやまと塾の人間教育に期待します。三浦さんは2月11日の建国式典(松山会場)で、青年の主張をされ、教育に取り組む宣言をなさいました。早速塾へのお問い合わせがあるようございます。

★会費の切れる会員の方には払込用紙を同封しております。引き続きご支援下さいますようお願い申し上げます。年会費は現在、2000円でございます。封筒のアドレスシールの住所のあとの数字は今まで会費を納入していただいた〈年と月〉を表しています。

★会員名簿の管理用に使っていた古いパソコンが駄目になり、古い名簿をもとにマニュアルで復元しました。もしご不審の点がございましたら事務局までご一報いただければありがたいです。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井美智子 〒791-0221 東温市上村甲218

電話 090-8971-7721 Fax 089-964-3903

<http://www.mezasukai.com/> メール michikoaoi25@yahoo.co.jp

